

矢祭子ども司書を目指す君たちへ

みなさん、よくぞ自分から手をあげて、子ども司書講座にチャレンジする決心をしましたね。

子ども司書という新しい学びの場を町で設けたのは、矢祭町が全国ではじめてです。今では各地に広まり、毎年子ども司書の取り組みをよくするため全国の研究大会も開かれるようになりました。

矢祭子ども司書講座も、はや七年目を迎えました。これまでの講座を修了した子どもたちの様子を見ますと、図書館にはどのような本が並べられ、図書館の司書はどのような仕事をしているのかといったことはもとより、絵本を手づくりで創作したり、俳句づくりで言葉の感覚を身につけたり、読み語りの仕方を学んだりと、たくさん講座をこなすうちに、学びへの心の持ち方や姿勢がどんどん積極的でしたものになっていく姿がありました。それは、通常の授業だけでは得られない心の成長であり、社会性を身につけることであると思います。

これからみなさんは、学校や家庭での勉強や課外活動や習いごとなど、いろいろ忙しい中で、子ども司書の様々なカリキュラムを受けていくのは大変でしょうが、そこで得られるものは、決して小さなものではありません。小学校の四年、五年という、心の成長にとって大事な時期だからこそ、子ども司書へのチャレンジは、きっと豊かな実りをもたらしてくれるでしょう。来年春、みなさんがそろって、子ども司書の認定を受けるのを楽しみにしています。

平成二十七年六月二十一日

ノンフィクション作家

柳田 邦男

やなぎだ くにお